

経営比較分析表（令和4年度決算）

新潟県 小千谷市

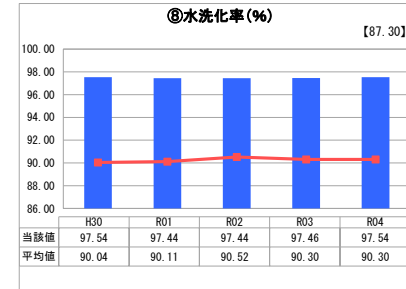
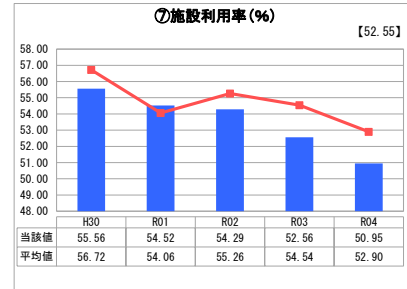
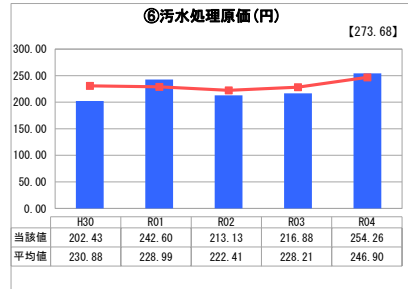
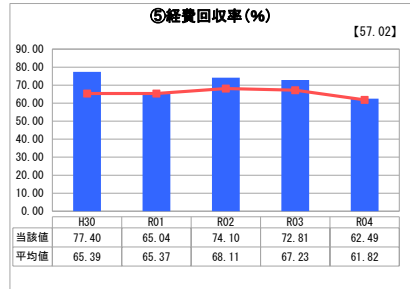
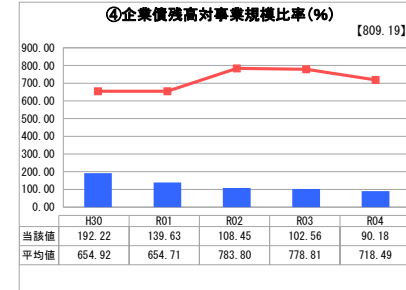
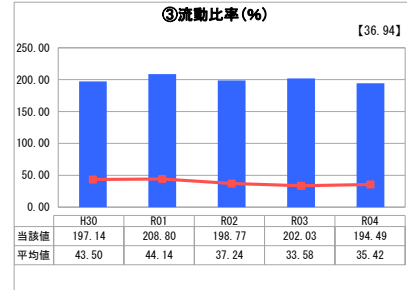
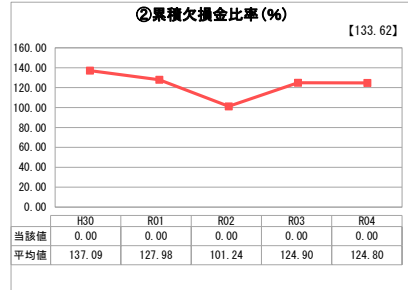
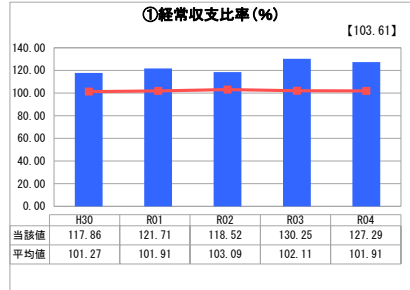
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	72.56	9.97	92.90	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,722	155.19	217.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,335	2.76	1,208.33

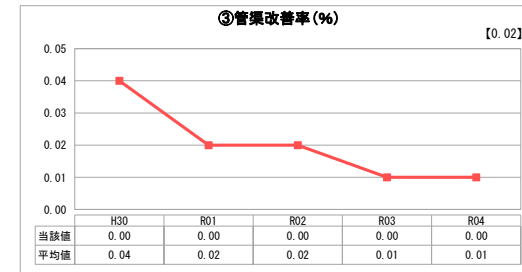
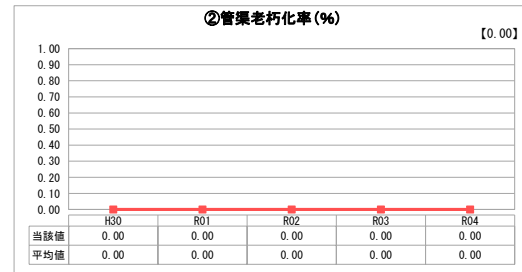
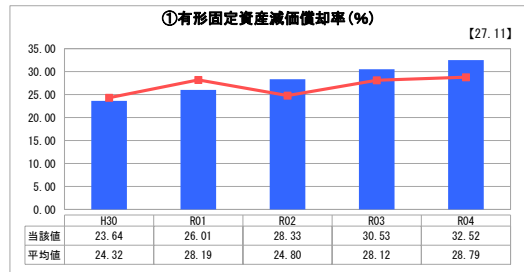
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、R3年度と比較し減少となったが、類似団体平均値より高い数値となっている。
- ② 黒字経営が続いており、累積欠損はない。
- ③ 流動比率は、R3年度と比較して減少となったが、類似団体平均値を大きく上回っている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の減少に伴い、毎年度低下している。
- ⑤ 経費回収率は、使用料収入の減少に加え汚水処理費も増加したことから低下した。
- ⑥ 汚水処理原価は、有収水量の減少に加え汚水処理費も増加したことから上昇した。
- ⑦ 施設利用率は、人口減少等による処理水量の減少に伴い低下している。
- ⑧ 水洗化率は、類似団体平均値を上回っているが、算出元となる処理区域内人口及び水洗便所設置済人口は共に減少している。

2. 老朽化の状況について

- ① 当市が法適用し減価償却を開始したのがH22年度と比較的新しいため、有形固定資産減価償却率は今後も同様のペースで上昇し続ける。
- ② 法定耐用年数を経過した管渠がまだ存在しないため、管渠老朽化率は0%となっている。
- ③ 上記②で述べた理由により管渠の更新に着手していないことから、管渠改善率も0%となっている。

全体総括

当市の経営指標が類似団体に比べて総じて良好なのは、一般会計からの繰入金受入によるものである。しかし、当市は既に予定していた全ての地区の整備を完了していることや、区域内人口の減少が進んでいることから、使用料収入は減少し続ける見込であるため、既設資産の維持管理費や施設の更新に係る費用の負担は重くなる一方と推測している。ストックマネジメントの実施による更新投資の標準化、公共下水道への接続等による経営の効率化に努めるほか、料金改定の検討を進めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。